

## 胸に刻む命守る教訓

盛岡二高 陸前高田で震災学習  
1年生



東日本大震災津波伝承館で教訓や防災について学ぶ盛岡二高の1年生

盛岡市の盛岡二高(小原貴人校長、生徒606人)の1年生200人は28日、陸前高田市の高田松原津波復興祈念公園で震災学習とボランティアを行った。

東日本大震災津波伝承館では津波の映像や被災した橋桁などを見学し、命を守るための行動と教訓を学んだ。解説員の話に熱心に耳を傾け、メモを取る生徒もいた。

防潮堤近くの高田松原再生エリアではNPO法人高田松原を守る会(鈴木善久理事長)のメンバーと章取りや防草シートの撤去に取り組んだ。華道部員と有志は花の形をした「花ろうそく」計200個を同会と伝承館に贈呈した。

初めて現地に訪れた吉田萌杏さんは「被災した消防

車両を見て津波のすさまじさを感じたし、現地の人たちの思いも知ることができた。しっかり逃げることが、日常の備えが大事だ」と教訓を胸に刻んだ。